



Column

TOP > column >

survey
about us
event
column
soudan

女性先輩社員

人事担当者

内定者/新入社員

contact us
mail magazine



15.

「より自分らしくいるために、
女性としての特性を、
営業で、管理職で、海外で、
ぜひ活かしてください。」

東 真奈美 (ひがし まなみ)

株式会社東京コンサルティングファーム
取締役 税理士



「女性って一つの個性だと思うんです。」

女性って、こどもを産み、育てる体なので、ものごとを感じ取る、という力が強いんじゃないでしょうか。生まれたばかりの赤ちゃんはコトバが話せませんよね。でも、お母さんは赤ちゃんが何を求めているのかを察することができます。たとえば営業シーンを例にとりますと、論理をベースに長期的な計画を立てることが得意な男性型アプローチと比べて、女性は場の空気を敏感に感じて感情に訴えかける、といったアプローチ方法が得意な様です。最終的にモノを買う決定を下すのは感情、とも言われていますから、営業職も意外と女性向きなのかもしれません。また、感情やモチベーションを敏感に察しながら周りとの関係性を築いていけるという面では、マネジメントシーンでも女性の特性を活かせそうです。コトバだけに頼らないコミュニケーションが得意、という点では海外の方々との折衝も適性があると思います。仕事でも結婚でも、男性と無理に張り合わずに、女性という個性を活かすために工夫をしていけると面白く働けるのではないのでしょうか？

「新卒入社、結婚、退職、転職、出会い、海外…。」

そんな風に捉えられるようになったのも最近の話です。私自身、これまでは男性に負けないように、と気を張りながら生きてきました。大学の頃は活動的で前に出ることが好きなタイプでした。ところが新卒入社した大手電機メーカーは旧態依然とした体質。「頑張れば女性でも課

長まではなれるよ」というコトバを聞き、このままでは将来が限られてしまうと焦燥感を感じていました。結局、結婚を機に退職してから税理士の資格取得のための勉強を始めることに。その後数年かけて資格を取り、2社の税理士事務所経験を経て、今の会社に出会うのですが、当時はまだ22名で駆け出したばかりの小さな組織。ただ、「税理士全員をコンサルタントにしたい」というビジョンに共感し、参加することを決めました。私が37歳の頃のことです。入社後は会社の中核を担うシニアスタッフとして、300名の組織にまで成長させることができました。海外への進出も積極的に行い、2012年には私自身もカンボジアに現地法人の責任者として赴任しました。



「グローバル化に向け、“人間力×専門力×英語力”を。」



グローバル化は、もう避けられない流れだと思います。それなら、この大きな変化をどう活かしていくのか、一人ひとりが考えた方がいい。私が考えるポイントは3つです。「人間力×専門力×英語力」を身に着けること。人間力とは、いわゆる信念や信条といったものです。グローバルで何を成し遂げていきたいのか。どんな世界を実現していきたいのか。そういった想いの部分。専門力とは、具体的に言うと資格です。私たち税理士

の世界でいえば、USCPAという国際資格の取得。海外でどんなビジネスを展開するにしても、現地の専門家と協力して進める必要があります。彼らも努力して専門的な知識や経験を積み重ねている自負がありますから、こちら側もある程度の専門力を持っていることが証明できないと、会話や交渉の土俵にも上がれません。最後の英語力は言うまでもないと思います。ただ、ビジネス英語だけではなくお互い信頼関係を築けるだけの英語力を身に着けられるとさらにイイですね。お互いの信念や信条、哲学的な概念を相手に伝えられるだけの英語力を身に着けていただければと思います。

「社会との関わり方を、決めておくこと。」



少し厳しい意見を伝えているかもしれませんが、でも、今は女性にとっては普通に働き続けることが難しい時代なんだと思います。ですので、それぞれが社会に対してどう関わっていくのかを決めてしまうのがいいんじゃないでしょうか。たとえば専業主婦のように、完全に家庭に入って子育てや地域貢献から社会に貢献していく生き方。いわゆるキャリアウーマンとして、男性と同じラインでビジネスを通して社会に貢献していく生き方。そして仕事と家庭を両立させた生き方。ここはどちらを重視するかによって2タイプに分かれると思います。仕事を重視したければ、旦那さまやご両親に家事や育児をサポートしてもらえるようお願いしておかないといけな。家庭を重視するならば、働き方は時間の自由が利くパートなどの働き方も覚悟しておくべきかもしれませんね。「何を大切にするのか？社会にどう貢献していくのか？」これを自分の中で決めておけると、様々な工夫を積み重ねて、いずれ理想のバランスが築けると思います。

女子就活生のみなさんへ

将来のイメージが見つからない場合には、まず資格を取ることを目標にすればどうでしょう。日々、努力する習慣も身につきますし、資格を取得できれば専門力を証明することもできます。世の中の役に立つスキルを身につければ、やりたいことや目標も見えてきやすくなるかもしれません。そして冒頭にもお伝えした、女性としての特性を活かした働き方をぜひ実現してほしいな、と思います。営業でも、管理職でも、海外進出でも、女性ならではのやり方で、男性と同じだけの成果を出せるように。私自身もみなさんのモデルとなれる様にならばいいですね。



東 真奈美（ひがし まなみ）様

大学卒業後、三菱電機株式会社に入社。結婚を機に退職し、
税理士を目指す。資格取得後、07年より現職。

◆6shU-type・・・「シュガードーナッツ」タイプ
※シュウクリームの適職診断「6shU-type」はこちらから。

◆東京コンサルティンググループ 株式会社東京コンサルティングファーム
本社所在地：東京都新宿区新宿2-5-3 AMビル7階
URL：<http://www.kuno-cpa.co.jp/>

TO